

## 満州事変と日中戦争

- 満州事変後、1932年の(五・一五)事件で政党内閣の時代が終わり、1936年の(二・二六)事件以後は、軍部が政治的な発言力を強めた。
- 日中戦争が長期化すると、戦時体制が強められた。1938年には資源と国民を戦争に動員できるとする(国家総動員)法が定められ、1940年には、政党や政治団体が解散して(大政翼賛)会が組織された。

## 第二次世界大戦と太平洋戦争

- 第二次世界大戦は、ファシズムの(枢軸)国と、それに対抗する連合国との戦いとなった。
- 日本が東南アジアに進出すると、アメリカが(石油)の対日輸出を禁止した。日米交渉で事態を打開できず、日本は開戦を決めた。
- ヨーロッパでイタリア、ドイツが降伏したあとも、日本は戦争を続けたが、1945年8月6日に広島、9日に長崎に(原爆)が落とされ、8月9日以後、(ソ連)が中立条約を破棄して侵攻してくると、降伏を決め、8月(15)日にラジオ放送で国民に伝えられた。